

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-25
 氏 名 日清ペットフード株式会社
 代表取締役社長 増井 隆夫 印
 (代理人) 取締役鶴見工場長 鈴木 信孝
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清ペットフード株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区大川町3-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	10	飲料・たばこ・飼料製造業
主たる事業 の内容	ペットフードの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,691 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	鶴見工場
		所在地	川崎市川崎区大川町3-1
	電話番号		044-366-5331
	FAX番号		044-344-2372
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しています。 Http://www.nisshin-pet.co.jp/company/environment.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,516 t-CO ₂ (調) 4,891	(実) 5,499 t-CO ₂ (調) 4,884	(実) 5,152 t-CO ₂ (調) 4,600	(実) 4,799 t-CO ₂ (調) 4,260	(実) 5,352 t-CO ₂
削減率		(実) 0.3 % (調) 0.1	(実) 6.6 % (調) 5.9	(実) 13.0 % (調) 12.9	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ペット犬の小型化に伴いペットフード市場は小ロット多品種化が進み、弊社鶴見工場でも、製造切り替え回数および高加工度のプレミアムフードの品種が増加している。そんな中でも生産切り替え時の電力の無駄削減のための工程制御変更や、大型ファンの回転数変更、ボイラー更新などを行い、前年度比でのCO ₂ 排出量の増加を抑制した。
第2年度	ペット犬の小型化に伴いペットフード市場は小ロット多品種化が進み、弊社鶴見工場でも、製造切り替え回数および高加工度のプレミアムフードの品種が増加している。H23年度は夏場の電力削減を中心に、エアコン温度管理、不要照明の消灯、水銀灯のLED化などを行い、生産量減少もあったが前年度比でのCO ₂ 排出量の増加を抑制した。
第3年度	ペット犬の小型化に伴いペットフード市場は小ロット多品種化が進み、弊社鶴見工場でも、製造切り替え回数および高加工度のプレミアムフードの品種が増加している。コンプレッサーの更新、エアコン温度管理、不要照明の消灯、水銀灯のLED化などを行い、生産量減少もあったが、CO ₂ 排出量を目標の3%に対して13%の削減を達成した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制 ○小集団活動 ○省エネタイプの設備更新 ○設備高効率化改修 ○照明設備の運用、更新
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当事業場内の日清製粉(株)、日清サイロ(株)と「環境・CO2リーダー会」を共同開催し、平成22年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 ○設備高効率化改修： 配合工程、粉碎工程の切り替え時の電力無駄削減のため、運転制御ソフトの見直しを行なった。 ○照明設備の運用、更新： 工場内、事務所内の蛍光灯の一部をHf蛍光灯に更新し、照明増設箇所にはLED照明を採用した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当事業場内の日清製粉(株)、日清サイロ(株)と「環境・CO2リーダー会」を共同開催し、平成23年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 ○夏場の電力削減：扇風機を活用して夏場の冷房温度設定を28℃以上とした。事務所・休憩室の照明にキャパシタスイッチを設置し不要箇所の消灯を推進した。 ○照明設備の運用、更新： 工場内、事務所内の蛍光灯の一部をHf蛍光灯に更新し、照明増設箇所にはLED照明の採用を継続している。また水銀灯のLED照明への更新も開始した。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当事業場内の日清製粉(株)、日清サイロ(株)と「環境・CO2リーダー会」を共同開催し、平成24年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 ○省エネタイプの設備更新：高効率コンプレッサへ更新(インバータタイプ) ○夏場の電力削減：扇風機を活用して夏場の冷房温度設定を28℃以上とした。 ○照明設備の運用、更新：工場内、事務所内の蛍光灯の一部をHf蛍光灯に更新し、照明増設箇所にはLED照明の採用を継続している。また水銀灯のLED照明への更新も開始した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る 2. 取得済みのISO14001の活動の一環として、環境に関する教育を行なう。 3. グリーン購入の推進を行なう 4. 運送業者等に対するエコドライブ実施の協力要請
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の削減に取り組み、総廃棄物量を前年比13%削減した。 2. 全従業員を対象にした環境研修を実施し、省エネ、廃棄物削減分別の教育を実施した。 3. 運送会社6社、荷主53社に、環境配慮行動要請票を送り、エコ運搬の要請をした。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の削減に取り組み、総廃棄物量を前年比12.9%削減した。 2. 全従業員を対象にした環境研修を実施し、省エネ、廃棄物削減分別の教育を実施した。 3. 新たな取引先の荷主1社に、環境配慮行動要請票を送り、エコ運搬の要請をした。
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の削減に取り組み、総廃棄物量を前年比2%削減した。 2. 全従業員を対象にした環境研修を実施し、省エネ、廃棄物削減分別の教育を実施した。 3. 一般廃棄物、産業廃棄物合わせて、マテリアルリサイクル率が前年の40%から78%へ向上した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,087	t-CO ₂
(調)	5,080	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
鶴見工場	川崎区大川町3-1	1061	ペットフード製造	5,087 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--